

「庄内川堤防道路検討会」設立趣旨

中部圏の中心を流れる庄内川の堤防の多くは、流域住民の生命と財産を守る河川堤防本来の機能のほか、沿道住民の生活道路として利用されており、地域を結ぶ通過交通に対応し、幹線道路を補完する役割を担っている。

特に庄内川中下流部及び矢田川下流部(以下「庄内川等」という。)の堤防道路は、市街地道路の混雑を避ける迂回路として利用されており、交通量、大型車混入率ともに高い状況にある。

この道路兼用が、現在次のような問題を引き起こしている。

- ・堤防の不安定化、損傷及びそれに伴う通行の危険性
- ・出水時の水防活動等への支障
- ・道路交通安全上の課題
- ・河川利用上の課題 等

こういった数々の課題を改善するため、庄内川等の堤防及び堤防道路のあるべき姿を検討した上で、都市部における道路としてのニーズと堤防としての機能確保双方の視点から、具体的な対応策についての検討を行うことを目的として、「庄内川堤防道路検討会」を設立するものである。